

用語解説

○ 用語解説（五十音順）

ICT …

Information and Communication Technology（インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー）の略で、コンピューターやインターネットに関連する情報通信技術を指します。

アクセシビリティ …

年齢や障害の有無などに関係なく、誰でも必要とする情報やサービスなどに簡単にたどりつき、利用できることを指します。

アプローチ・スタートカリキュラム …

小学校の学習や生活に円滑に接続できるよう工夫された就学前5歳児への指導計画と、就学後6歳児の児童が主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくための指導計画が記載されたカリキュラムです。

インクルーシブな教育 …

豊島区では、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ場を、現在の環境の中でできる限り設定しています。子どもたちが将来、社会へ参加および貢献できるように、一人ひとりの力を最大限に伸ばすことを目的としています。こうした取組を豊島区では「インクルーシブな教育」と表現しています。

インターナショナルセーフスクール …

安全な教育環境づくりに取り組む学校に与えられる国際認証を指します。豊島区では、安全・安心な学校づくりの推進、子どもの危険回避能力の育成や地域・保護者と連携した子どもの見守り体制などを充実させることを目的に、インターナショナルセーフスクールの認証取得に取り組んできました。今後も、コミュニティ・スクールの活動の一環として取り組んでいきます。

ウェルビーイング …

「身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含むもの。また、個人のみならず、個人を取り巻く場や地域、社会が持続的に良い状態であることを含む包括的な概念」を指します。（文部科学省「第4期教育振興基本計画」より）

外国語指導助手（ALT） …

子どもの英語の発音や国際理解教育の向上のため、小中学校に配置している英語を母語とする者による英語の授業の補助を行います。

○ 用語解説（五十音順）

学習 e ポータル …

タブレット端末でデジタル教材などを集約し、操作を簡素化するツール・機能を指します。

学習スタンダード …

教員の行う授業の流れや授業内での発問、板書の仕方など、授業や授業づくりに関わる規範を指します。

学習情報センター …

子どもの学習を支援するため、大型提示装置（プロジェクター・スクリーン）、複合機、学習スペース（机・椅子）などの設備を備えた学校図書館を指します。

カリキュラムマネジメント …

子どもや学校、地域の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容などを教科など横断的な視点で組み立てていくこと、教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと、教育課程の実施に必要な人的または物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくことなどを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくことを指します。

GIGA スクール構想 …

「一人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育環境を実現すること。これまでの日本の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師・子どもの力を最大限に引き出す」ことを指します。（文部科学省「GIGA スクール構想の実現へ」より）

キャリア教育 …

望ましい職業観・勤労観および職業に関する知識や技能を身につけさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育を指します。

教育ダッシュボード …

子どもの出席・成績などを集約・分析し、情報を見える化するツールを指します。

○ 用語解説（五十音順）

共生社会 …

「全ての国民が、障害の有無にかかわらず、等しく基本的人権を享有するかけがえない個人として尊重されるものであるとの理念にのっとり、全ての国民が、障害の有無によつて分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会のこと」を指します。（障害者基本法第 1 条より）

校内別室指導支援員 …

校内の別室であれば登校できる子どもが安心し、自己存在感や充実感を感じられる場所を設置して対応できるよう配置しています。

校務支援員 …

子ども、教職員に関わる庶務、給与、財務、学務、福利厚生事務の補助を行います。

校務支援システム …

教職員が校務用のパソコンを用いて、子どもの出欠情報や成績情報、保健情報、教育課程の実施状況など校務に関する情報の入力・作成・管理を一律に行うシステムを指します。データの効率的な活用や安全な保管、各種資料作成の省力化などを図ります。

合理的配慮 …

「障害者が他の者との平等を基礎として全ての人権及び基本的自由を享有し、又は行使することを確保するための必要かつ適当な変更及び調整であって、特定の場合において必要とされるものであり、かつ、均衡を失した又は過度の負担を課さないもの」を指します。（障害者の権利に関する条約第 2 条より）

子ども家庭支援センター …

就学前の親子が気軽に遊びに行くことができる、広場のある施設です。豊島区には東西合わせて 2 か所あり、子育てや家庭に関わる相談をしたり、子育てに役立つ講座に参加することもできます。

子どもスキップ …

学校の教室、校庭、体育館などを活用した、小学生の居場所です。区内の小学校の校内・敷地内や隣接する区民ひろばなどにあり、区内在住または区立小学校に在学している全児童が利用できます。

○ 用語解説（五十音順）

コミュニティ・スクール …

学校運営協議会を設置した学校で、学校と地域住民などが力を合わせ、子どもたちのよりよい環境づくりに取り組む「地域とともにある学校」を指します。

児童発達支援センター …

心身に障害のある子どもや、発達に心配や偏りのある子どもに対し、相談および通所、個別指導による援助を行っている施設です。専門のスタッフが相談および通所、個別指導による支援を行っています。

社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン） …

「全ての人々を孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支え合う」という理念を指します。（厚生労働省『『社会的な援護を要する人々に対する社会福祉のあり方に関する検討会』報告書』より）

就学前教育共通プログラム …

保育の違いを超えて質の高い教育・保育を提供し、子どもの充実した経験や学びを小学校の生活、学習へとつなげるため、教育委員会と子ども家庭部が連携して、どの公立・私立幼稚園、保育園などでも活用できる0～5歳児を対象とした共通のプログラムを指します。

小中連携教育共通プログラム …

小学校教育から中学校教育への円滑な接続を目指すため、授業改善、地域の特色、不登校対策などについて小学校間や小中学校間で情報交換や交流を行うための共通プログラムを指します。

情報モラル …

情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度を指します。

食育 …

「生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきものと位置付けるとともに、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる」ことを指します。（食育基本法前文より）

○ 用語解説（五十音順）

スクールカウンセラー …

いじめや不登校、問題行動、児童虐待などの相談、改善、解決を図ることを目的とし、臨床心理士などの専門家を区内の全幼稚園・小中学校に派遣しています。

スクールサポートスタッフ …

学習プリントなどの印刷・配布準備、授業準備の補助、採点業務などの教員業務の補助を行います。

スクールソーシャルワーカー …

社会福祉の専門的な知識、技術を活用し、問題を抱えた子どもを取り巻く環境に働きかけ、家庭、学校、地域の関係機関をつなぎ、子どもの悩みの解決に向けて支援を行います。

スクールロイヤー …

子ども間のトラブル、いじめ、虐待、保護者からの過剰な要求、事故など、学校で発生した様々な問題に対して、法律に基づいた助言や指導を行う弁護士などを指します。

Society5.0 時代 …

日本が目指すべき未来社会の姿で、「サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会」を指します。（内閣府「第5期科学技術基本計画」より）

チームとしま …

豊島区制施行 90 周年企業実行委員会を継承・発展させ、共創により豊島区をよりよくしていく組織・産官学連携連合体を指します。それぞれの企業が得意分野を活かしながら、よりおもしろく、活気あるまちづくりを目指しています。

チャレンジクラス（登校支援学級）「スリジエ」 …

豊島区立西池袋中学校の校内に設置された登校支援学級です。1 学年 10 名程度の少人数学級で、豊島区立学校に在籍または豊島区在住の不登校（不登校傾向含む）生徒を対象としています。登校時刻を遅らせたり下校時刻を早めたりするなど、ゆとりある生活時程を工夫することで、安心して学校生活を送ることができます。また、正規の教員が一人ひとりの学習状況に応じた指導を行うことで、学習の定着を図ります。なお、スリジエはフランス語で「桜」を意味します。

○ 用語解説（五十音順）

超スマート社会 …

「必要なもの・サービスを、必要な人に、必要な時に、必要なだけ提供し、社会の様々なニーズにきめ細やかに対応でき、あらゆる人が質の高いサービスを受けられ、年齢、性別、地域、言語といった様々な違いを乗り越え、生き活きと快適に暮らすことのできる社会」を指します。（内閣府「第5期科学技術基本計画」より）

DX(デジタル・トランスフォーメーション)、教育 DX …

デジタル技術を社会に浸透させて人々の生活をよりよいものへ変革することを指します。教育 DX は、学校がデジタル機器を活用して、カリキュラムや学習の在り方を革新するとともに、教職員の業務や組織、プロセス、学校文化を革新し、時代に対応した教育を確立することを指します。

特別支援教育 …

障害のある子どもたちが自立し、社会参加するために必要な力を培う教育を指します。また、子ども一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その可能性を最大限に伸ばし、生活や学習上の困難を改善または克服するため、適切な指導や必要な支援を行います。

特別支援教育指導員 …

障害のある子どもたちが自立し社会参加するために必要な力を培ったり、一人ひとりの子どもの教育的ニーズを把握し、その可能性を最大限に伸ばし、生活や学習上の困難を改善または克服するため、適切な指導や必要な支援を行います。

としま地域未来塾 …

中学生の自学自習と学習支援員によるサポートを通して学習習慣を定着させ、学力の向上を支援するとともに、同年代の生徒や学習支援員とのコミュニケーション、相談を通して悩みや不安の解消を図ることを目的としています。

にしまる一む …

西池袋中学校の生徒が気軽に立ち寄り、思い思いに過ごせる校内の居場所です。NPO 法人・豊島子ども WAKUWAKU ネットワークと教育委員会の間で締結した「中学生の居場所づくりモデル事業に関する協定」に基づき、令和5(2023)年5月、西池袋中学校1階ホールに不登校の予防と中学生の放課後支援として開設しました。第1部は教室に入りにくい生徒のために、第2部は放課後の居場所として生徒の誰でも利用できます。

不登校対策支援員 …

校内別室において、不登校傾向の子どもへ学習および自立支援を行います。教職員などと連携し不登校の子ども・保護者を支援します。

○ 用語解説（五十音順）

フリースクール …

「不登校の子どもに対し、学習活動、教育相談、体験活動などの活動を行っている民間の施設」を指します。（文部科学省 HP「フリースクール・不登校に対する取組」より）

MEXCBT …

国や地方自治体などの公的機関などが作成した問題を活用し、オンライン上で学習やアセスメントができる公的 CBT（Computer Based Testing）プラットフォーム「文部科学省 CBT システム（MEXCBT：メクビット）」を指します。

UD（ユニバーサルデザイン） …

あらかじめ、障害の有無、年齢、性別、人種などに関わらず、多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方を指します。

令和の日本型学校教育 …

「社会の変化が加速度を増し、複雑で予測困難となってきた中、子供たちの資質・能力を確実に育成する必要がある、そのためには、新学習指導要領の着実な実施が重要であるとした。その上で、我が国の学校教育がこれまで果たしてきた役割やその成果を振り返りつつ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大をはじめとする社会の急激な変化の中で再認識された学校の役割や課題を踏まえ、2020 年代を通じて実現を目指す学校教育」を指します。（文部科学省中央教育審議会「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」より）

レファレンスサービス …

調べたいことや探している資料などの質問に対して、必要な資料・情報を案内するサービスを指します。

參考資料

○ 参考資料

豊島区教育ビジョン検討委員会

① 審議経過

	開催日	主な審議内容
第 1 回	令和 5(2023) 年 5 月 24 日	豊島区教育ビジョン 2025 の策定に係る諮問について
第 2 回	令和 5(2023) 年 7 月 28 日	豊島区教育ビジョン 2025 の位置づけについて
第 3 回	令和 5(2023) 年 9 月 28 日	豊島区教育ビジョン 2025 の体系（案）・基本施策（案）について
第 4 回	令和 6(2024) 年 1 月 17 日	豊島区教育ビジョン 2025 の素案について
第 5 回	令和 6(2024) 年 7 月 5 日	これまでの検討経過および今後の検討予定について
第 6 回	令和 6(2024) 年 10 月 4 日	「幼児教育のあり方検討部会」における検討状況、豊島区教育ビジョン 2025 の基本方針・基本施策（案）および進捗を測る指標（案）について
第 7 回	令和 6(2024) 年 10 月 23 日	豊島区教育ビジョン検討委員会幼児教育部会「最終報告書」について
第 8 回	令和 6(2024) 年 11 月 20 日	豊島区教育ビジョン 2025 の素案、パブリックコメントの実施について
第 9 回	令和 7(2025) 年 2 月 21 日	豊島区教育ビジョン 2025 の答申について

○ 参考資料

豊島区教育ビジョン検討委員会

② 委員構成

職務	氏名	区分	団体名等
委員長	増淵 達夫	学識 経験者	帝京大学教育学部 教授
副委員長	藤平 敦		日本大学文理学部 教授
	福本 みちよ		東京学芸大学大学院 教育学研究科 教授
委員	菅谷 哲史	区内 関係 団体 代表者	区立小学校 PTA 連合会
	小出 淳平		区立中学校 PTA 連合会
	松浦 和代		豊島区民生委員児童委員協議会
	山元 俊一		豊島区保護司会
	守口 幸恵		豊島区青少年育成委員会連合会
	百崎 薫		豊島区私立幼稚園連合会 (～ R6.7.4)
	鈴木 恭子		豊島区私立幼稚園連合会 (R6.7.5 ～)
	齋藤 玲子		豊島区私立保育園園長会

職務	氏名	区分	団体名等
委員	下村 賢一	公募委員	区民
	瀬能 理映		区民
	薦 宮子		区民
	佐藤 洋士	関係行政 機関の 職員	区立小学校校長会
	岡泉 美和子		区立中学校校長会
	山野邊 暢		政策経営部長
	田中 真理子		福祉部長
	副島 由理		子ども家庭部長 (～ R6.3.31)
	活田 啓文		子ども家庭部長 (R6.4.1 ～)
	澤田 健		教育部長 (～ R6.3.31)
	兒玉 辰哉		教育部長 (R6.4.1 ～)

豊島区教育ビジョン 2025

編集・発行

令和 7 年 3 月

教育委員会事務局教育部庶務課

〒171 - 8422 東京都豊島区南池袋 2 丁目 45 番 1 号

電話番号：03-3981-1111（代表）